

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	細河祭り運営事業
事業実施前の状況	地域内のコミュニケーションをより充実させるために、まつり運営を支える必要がある。
事業実施後の状況	地域住民の実行委員会が主体で運営を行って、コミュニケーションを充実させることができた。
事業の効果	地域及び地域外との活性とコミュニティ意識の高揚。
今後の課題等	地域での行事継続の取り組み方。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	細河の自然を守る事業①
事業実施前の状況	ビオトープの整備継続中である。
事業実施後の状況	整備は継続中であるがメダカ等生息の観察ができる。
事業の効果	豊かな自然環境の保全を行い、地域の環境整備に効果あり。 自然観察・保全を行う諸団体とも交流を持つことができた。
今後の課題等	引き続き維持管理を行うため、多額の予算が必要となる。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯の維持管理を継続し、防犯に努める必要がある。
事業実施後の状況	防犯灯がない地域にLED街路灯を継続して利用できた。
事業の効果	夜道の防犯対策に寄与している。 LED電球は経済的であり、細河の植木植栽類にやさしい。
今後の課題等	地域住民に対する調整。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	コミュニティ道路維持管理事業
事業実施前の状況	設置した街路灯の電気代の支払いが必要である。また、雑草や枯葉等で滑ったりして危険である
事業実施後の状況	電気代を支払った。また、急な箇所も滑ることがなくなり、安全に通行出来るようになった。
事業の効果	散策する人が安全に通行出来る様になった。
今後の課題等	維持管理が年々負担に成りつつあるので、事業が負担なく出来るよう検討が必要

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	地域住民がどんな事業を実施しているのかがわからないため、活動を知っていただき、関心を高める必要があった。
事業実施後の状況	年2回（7月、1月）発行。部会毎の事業報告や親水公園・イベント案内・防犯情報など、分かりやすく発信し、地域に関心を持って頂けた。
事業の効果	地域コミュニティ活動の認識や防災の意識を高めている。また、イベントの集客に寄与した。
今後の課題等	より充実した内容にするため、マンネリ化を防ぎ新会員の募集をしていく。地域の方が何を考えているのか投稿コーナーを充実させていきたい。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	細河ホームページ管理事業
事業実施前の状況	池田市内、近隣市、国内、国外では細河の知名度はほとんどなく知名度を上げる目的・手段としてHPを開設し公開した。
事業実施後の状況	毎月2回（年間）広報部員にてHP更新作業を行い出来る限り、地域の新鮮な情報の発信を行っている。
事業の効果	内外から事業・行事などHPを見て細河を訪れる人が増えてきている。
今後の課題等	よりタイムリーに情報の発信を行いたい。 地元の事業（お祭り等）についても発信していきたい。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	細河地域活性推進事業
事業実施前の状況	継続事業であり、事務所であるみどりの郷の運営が必要である。
事業実施後の状況	みどりの郷（火曜日は休館）は朝9時から午後4時30分まで開館している。多くの方が訪れ、地域の活性に貢献した。
事業の効果	みどりの郷への訪問者が多く細河の知名度を高め、地域活性化に貢献。細河の自然を市民に提供し、地域活性に寄与した。
今後の課題等	事務所詰め等のボランティアの募集。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	細河高齢者等配食サービス事業
事業実施前の状況	継続事業であり、高齢者の声かけや子育て支援を行う。
事業実施後の状況	安価で美味しく好評であった。
事業の効果	細河地区は高齢化率35%で毎年上がる中で、見守り、声かけの実践で安心しておいしい弁当を食べてもらっている。子育てが大変な妊婦さんにも提供し、子育て支援をする。
今後の課題等	配達業務の人材を探している。 希望者が年々増える中、協議会予算の配食に占める率が増額し、他の事業に支障をきたす。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	細河の自然を守る事業②
事業実施前の状況	里山保全活動を継続しているが、効率よく作業をできないか検討した。
事業実施後の状況	間伐した木材を運搬し、しいたけの原木と薪、子供達向けの工作資材に利用している。
事業の効果	豊かな自然環境と竹林や雑木林の間伐による里山の保全を行い、地域の環境整備に効果あり。
今後の課題等	保全エリアが広いので会員以外のボランティア募集方法の検討。多額の予算が必要となる。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	ほそごう学園花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	継続事業で、伏尾台コミュニティと共に子どもたちが育てた花を細河地区に配る。
事業実施後の状況	継続事業で、伏尾台コミュニティと共に子どもたちが育てた花を細河地区に配る。
事業の効果	地域の特別養護老人ホーム等公的施設の美化。
今後の課題等	配った花の管理方法の確立。

令和6年5月27日

日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	体験学習支援連携事業
事業実施前の状況	食育、川遊び、森林の間伐等について、学校と連携した活動が増してくる。
事業実施後の状況	学校授業として、食育、川遊び等を体験してもらう。
事業の効果	自然とのつながりを生徒とともに学習することで、学校授業に寄与しました。
今後の課題等	地域と学校との関わりをさらに深める。

令和6年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 ほそごう地域コミュニティ推進協議会（細河地区）

代表者名 篠崎 純士

記

事業の名称	細河地域子ども育成事業
事業実施前の状況	平成24年度より継続して子ども達の活動支援をしており、子どもが元気に育成する場を提供している。
事業実施後の状況	8月にプール場、11月芋ほり、3月にいちご狩りを実施する。子どもの育成に寄与することができた。
事業の効果	子ども達の活動の充実を図り地域と子どもや親同士との触れ合いを深める。
今後の課題等	地域と子どもとの関わり。